

## 如月(February)の校長

令和2年度課題研究発表会について

(R3.2.27)

2月16日、毎年恒例の『益田翔陽高校課題研究発表会』が、グラントワ大ホールにて行われました。今年度は近隣の中学生をはじめ、できるだけ多くの保護者及び地域の方々にご観覧いただく予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症対策のため、入場制限をつけての開催となってしまいました。

コロナ禍での限られた時間の中で、3年生は全員が、この課題研究において1年間、個人あるいはグループで課題を設けて、研究や「ものづくり」に励んできました。その間、多くの地域の方々に、様々な形でご指導・ご協力・ご援助いただきまして、誠にありがとうございました。生徒への学校からの指導が十分でなく、ご迷惑をおかけした面も多々あったかと思いますが、今後とも継続してご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

この集大成の発表会の1, 2ヶ月前には、3年生は各科ごとに全員の発表会が行われ、1, 2年生もその一部を見学しました。また、グラントワでは各科代表発表以外の研究も、ホワイエにてポスター展示等して観覧できるようにしました。いずれも各科ごとに特色があり、複合型専門高校である本校ならではの研究や「ものづくり」を、各科専門の枠を超えてお互いが視聴できるこの発表会は、今後ともさらに充実させていきたい大きなイベントであります。

日頃身近に接している様々な事象から問題点を見つけ、自分たちなりの解決策を模索していく姿や、日々の授業・実習を通して学んできたことをベースに、課題や目標を掲げての研究や「ものづくり」に励む姿は、主体的に取り組む問題解決型学習そのものです。

閉会式でも述べたように、何事にも“何故?”という疑問を持ち、調べ学習や実験等をもとに仮説・考察・検証を通して“じっくりとものを考える過程”がとても大切です。さらに今後は、地域の課題を発見して、周囲の人と対話しながら最適解(納得解)を構築し、それを実践して課題を解決していく力が、益々不可欠になってきます。

3年生諸君は、今後とも本校で培ったこの探究力・実践力を、次の新たなステージでも発揮、発展させてください。1・2年生諸君は、3年生から引き継ぐ継続研究も含め、自分が1年間かけて取り組む内容をしっかりと模索してください。次は君達の番ですよ。

今後とも未来を切り開く確かな力を身につけるべく、社会においても、校内においてもこの探究していく姿勢を大切にしてもらいたいと切に願っています。

多くの方々の支えにより、今年度も充実した『課題研究発表会』が実施できました。グラントワの皆様を含め、関係いただいた皆様方に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。